

**申し込み方法** 文化財活用センターWEBサイト「ぶんかつアウトリーチプログラム申し込みフォーム」からお申し込みください。  
WEBフォームでのお申し込みができない場合は、WEBサイト「ぶんかつアウトリーチプログラムQ&A」のページにあるFAX用紙でお申し込みください。

**ぶんかつWEBサイト**  
<https://cpcp.nich.go.jp>  
トップページ「教育プログラムを利用したい」  
「ぶんかつアウトリーチプログラム」へアクセス

**申し込み期限** 受付開始後、実施希望日の2か月前までにお申し込みください。  
(年間で10件程度、先着順で受付しています。すでに文化財複製の使用予定がある場合など、ご希望に添えず日程の調整をお願いすることや、お断りする場合がございます。)

- 申し込みの流れ**
- 1. 申し込みフォームを送る**  
WEBサイトの「ぶんかつアウトリーチプログラム申し込みフォーム」に必要事項をご入力の上、送信してください。受付は実施希望日の2か月前まで、フォームの受領順で受け付けます。
  - 2. 実施可否のご案内**  
実施の可否について、文化財活用センターから1週間以内に電話でご連絡いたします。
  - 3. 予約証が届く**  
**(予約完了)** 実施可能な場合は、「ぶんかつアウトリーチプログラム予約証」をメールまたはFAXにてお送りします。予約証を受け取った時点で予約が完了します。  
※予約完了後の日程変更はできません。
  - 4. 事前打ち合わせ**  
**(講師派遣ありの場合は必須)** 実施予定日の2週間以上前までに、学習内容、当日の流れについて打ち合わせを行います。(学校に伺います。訪問日程が調整出来ない場合、電話・メールなどでの打ち合わせとなります。) 詳細な利用の目的などをお知らせください。
  - 5. 使用キットが届く**  
複製品およびキット一式を送料元払い(または専用車両)にてお届けします。到着後は、必ず内容物一式の状態をご確認ください。  
※**【B】複製品を含むキット貸出**をお申し込みの方は、複製品と一緒に送付する「複製品およびキット借用書」を、同封する返信用封筒にてご返送ください。
  - 6. プログラムの実施**  
**【A】講師派遣**…文化財活用センター・東京国立博物館の職員が現地に出張し、プログラムを実施します。  
**【B】複製品を含むキット貸出**…学校の先生や実施館の学芸員など、利用者ご自身にてプログラムを行います。
  - 7. 使用キットを返却する**  
ご利用後は発送時に使用した資材で梱包し、利用期間内に送料着払い(または当方手配の専用車両)でご返送ください。  
※今後のプログラムに活かすために、利用者アンケートを用意しています。ご意見、ご感想をお聞かせください。

## 教員研修などでもご利用いただけます

都道府県や市区町村の教員研修・勉強会などにもご利用いただけます。  
まずは文化財活用センター企画担当へご相談ください。



※★の複製を使用したプログラムでは、綴プロジェクト(主催:京都文化協会/共催:キヤノン株式会社)で制作された高精細複製品を使用します。  
※本プログラムはキヤノン株式会社と国立文化財機構による「高精細複製品を用いた日本の文化財のための共同研究プロジェクト」の一環として実施しています。

## 2020年度 文化財をデリバリー

# ぶんかつ! アウトリーチプログラム

独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター(ぶんかつ)による「ぶんかつアウトリーチプログラム」は、全国各地の博物館・美術館や小学校・中学校・高等学校などで活用いただき、文化財に親しんでいただくためのプログラムです。高精細画像と伝統的な職人の手仕事による精巧な複製品を使って、いつもの教室などで国宝や重要文化財、海外の美術館が所蔵する名宝と向き合うことができます。

博物館・美術館のワークショップや、学校の図画工作・美術・古文の授業はもちろん、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間などでの活用を想定しています。講師派遣プログラムのほか、実施に必要な複製品を含んだキット一式の貸出のみも行いますので、利用者のみなさんご自身でプログラムを実施することも可能です。



ホンモノと見分けるのが  
難しいくらいの高精細複製品を使用!

**実施方法** **【A】複製品を含むキット貸出と講師派遣(要事前打ち合わせ)**  
講師は文化財活用センター、もしくは東京国立博物館の職員が担当いたします。

**【B】複製品を含むキット貸出**  
学校の先生や実施館の学芸員のみなさまにプログラムを行っていただきます。  
講師派遣はありません。

**料金** 原則として無料(ただし、筆記用具、必要な画材についてはご利用者様でご用意ください)

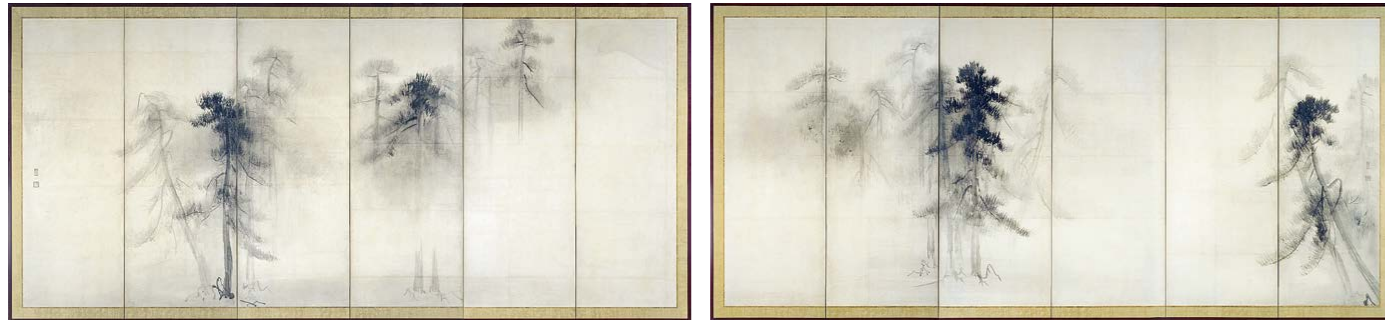
**申し込み方法** 事前申込制(先着順)。2020年度分の受付は2020年2月12日(水)10:00から開始します。  
申し込み方法については、裏面をご覧ください。

**お問い合わせ** 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター 企画担当  
TEL:03-5834-2856(平日9:00~17:00)  
E-mail:cpcp@nich.go.jp

\*文化財活用センター(ぶんかつ)は、すべての人びとに、文化財に親しむ機会を提供します。

こく ほう しょうりん ず びょう ぶ は せ がわ とう はく ★  
**国宝《松林図屏風》長谷川等伯筆の複製**を使ったプログラム

2020年6月中旬～7月中旬と10月以降実施可能



プログラム 1 **自分だけの松林図屏風をつくってみよう!**

- 対象** 小学校低学年から
- 人数** 最大人数40名(学校の場合は1クラスずつの実施を推奨)
- 講師** 1名で実施可能
- 実施時間** 45分程度を推奨
- 使用可能科目** 図画工作、総合的な学習の時間など
- 実施場所条件** 参加者が使用できる作業机があり、屏風が設置できるスペース(横7メートル×奥行3メートル程度)があること。



東京国立博物館が所蔵する国宝《松林図屏風》の複製を使用した体験型のプログラムです。博物館のガラスケースの中の展示とは違い、自分と同じ高さの床に置いた屏風に近づいて見ることができます。色やかたち、配置に注目してじっくり見たあとは、屏風型のワークシートに松を描いたり、配置を工夫しながら松の木のスタンプを押したりと、自分だけの松林図屏風を自由につくります。ものづくりを通して文化財を身近に感じることを目的としています。(スタンプ以外の画材をご希望の場合は、ご利用者様でご準備ください)

プログラム 2 **屏風体験! 松林図屏風をプロデュース**

- 対象** 小学校4年生以上
- 人数** 最大人数40名(学校の場合は1クラスずつの実施を推奨)
- 実施時間** 90分程度を推奨
- 使用可能科目** 図画工作、美術、総合的な学習の時間など
- 実施場所条件** 屏風が設置できるスペース(横7メートル×奥行7メートル程度)と、その周りに参加者が鑑賞できるスペースがあること。部屋を暗くできる場合は、照明による演出も可能です(照明器具は貸出キットに含まれています)。



国宝《松林図屏風》の複製を使用した対話形式のプログラムです。屏風に近づいて鑑賞し、作品の世界をより身近に感じられる置き方や、魅力を引き出す置き方をグループで話し合い、提案してもらいます。屏風の見せ方を考える体験を通して、文化財に親しむことを目的としています。

プログラム 3 **見て、感じて、楽しむ松林図屏風**

- 対象** 小学校3年生以上
- 人数** 最大人数40名(学校の場合は1クラスずつの実施を推奨)
- 実施時間** 45分程度を推奨
- 使用可能科目** 図画工作、美術、総合的な学習の時間など
- 実施場所条件** 屏風が設置できるスペース(横7メートル×奥行3メートル程度)と、その手前に参加者が鑑賞できるスペースがあること。部屋を暗くできる場合は、照明による演出も可能です(照明器具は貸出キットに含まれています)。



国宝《松林図屏風》の複製を使用した対話形式のプログラムです。自分と同じ高さの床に置いた屏風に近づき、作品や描かれているものなどについて見て、感じて、楽しめます。じっくりと見て感じたことをお互いに言葉にすることを通じて、文化財に親しみ、多様な見方を受け入れることを目的としています。

じゅうよう ぶん か ざい ふう じん らい じん ず なつ あき くさ ず びょう ぶ  
**重要文化財《風神雷神図/夏秋草図屏風》**

お が た こう りん さ か い ほう い つ  
**尾形光琳筆/酒井抱一筆の複製**を使ったプログラム

2020年10月より実施可能



表裏  
⇄

プログラム 4 **見て、感じて、楽しむ風神雷神図/夏秋草図屏風**

- 対象** 小学校3年生以上
- 人数** 最大人数40名(学校の場合は1クラスずつの実施を推奨)
- 実施時間** 45分程度を推奨
- 使用可能科目** 図画工作、美術、総合的な学習の時間など
- 実施場所条件** 屏風が設置できるスペース(横3.5メートル×奥行3メートル程度)と、その周りに参加者が鑑賞できるスペースがあること。部屋を暗くできる場合は、照明による演出も可能です(照明器具は貸出キットに含まれています)。

風神雷神図と夏秋草図は表裏一体となっています



重要文化財《風神雷神図/夏秋草図屏風》の複製を使用した対話形式のプログラムです。自分と同じ高さの床に置いた屏風に近づき、作品や描かれているものなどについて見て、感じて、楽しめます。じっくりと見て感じたことをお互いに言葉にすることを通じて、文化財に親しみ、多様な見方を受け入れることを目的としています。

へい け も の が た り い ち の た に や し ま か つ せん ず びょう ぶ ★  
**《平家物語 一の谷・屋島合戦図屏風》の複製**を使ったプログラム

2020年4月中旬～6月下旬と10月以降実施可能



© The Trustees of the British Museum (2017)

プログラム 5 **絵で読む平家物語**

- 対象** 中学2年生以上
- 人数** 最大人数40名(学校の場合は1クラスずつの実施を推奨)
- 実施時間** 45～50分程度を推奨
- 使用可能科目** 国語、古文、古典、美術など
- 実施場所条件** 屏風が設置できるスペース(横7メートル×奥行3メートル程度)があること。部屋を暗くできることが望ましい。



「平家物語」をテーマとした《平家物語 一の谷・屋島合戦図屏風》(イギリス・大英博物館蔵)の複製を使用するプログラムです。右隻には「敦盛の最期」など、「一の谷合戦」にまつわる21のエピソードが、左には「那須与一の扇的」など、「屋島合戦」にまつわる8つのエピソードが描かれています。どちらも教科書でもなじみの深い場面です。原文や現代語訳を参考にしながら、描かれた場面や人物をじっくり見ることによって、自分たちの感性を通して古典を生き生きと学び、文化財に親しむことを目的としています。